

入選

親切をつむいでいく

山形県 第四中学校

二年 堀川 しずく

私と友だちが自転車をこいでいたら、通りすがりのおばあさんに駅への行き方を尋ねられた。私たちは、駅への行き方を知らなかった。しかし、おばあさんを放っておくわけにはいかず、友だちとおばあさんには日陰の涼しいところにいてもらい、私は近くにあったコンビニエンスストアの店員さんに聞きに行くことにした。

店に入ると、レジにいた女性の方が、「いらっしゃいませ。」と明るく大きな声で言った。私はその女性に駅への行き方を尋ねた。すると女性は、

「少々お待ちください。」

と言って、レジから出てきてスマートフォンを取り出した。そしてスマートフォンの画面にマップを写し出して、徒歩か、車かを聞かれた。おばあさんは何にも乗っていなかったもので、徒歩と答えると、

「この道をまっすぐ行くと着きます。」

と、駅への簡単な行き方を教えてくださった。

「ありがとうございました。」と言うと、

「お気をつけて。」と、笑顔でおじぎをしてくださった。

そのとき、私の顔は自然と笑顔になった。それと同時に、とても嬉しくなった。「気をつけて」という短い言葉だけれど、心を込めて笑顔で言ってもらえたので、私にはそれがとても重要な言葉に思えた。

女性にもう一度お礼を言い、私は友だちとおばあさんの待っている場所に向かった。二人のいる場所を見てみると、どちらも笑顔で楽しそうに話をしている。近づいて、

「この道をまっすぐに行くと着くそうです。」

と、女性に教えてもらった駅への行き方を教えると、

「わざわざ聞いてきてくれてありがとう。」

とほほえんで言われた。私は、(ああ、聞いてきてよかったな。)と心の底から思った。おばあさんが駅に向かうとしたとき、私はさっきの店員さんに言われたことを思い出した。

「お気をつけて」。

私はあれを言われたとき、とても嬉しかったのだ。だから、このおばあさんにも、私と同じように嬉しい気持ちになってもらいたいと思った。緊張しつつも思い切って、

「お気をつけて。」

と声をかけた。おばあさんは一瞬驚いたような顔をしてから、

「ありがとう。」

と言い、嬉しそうに笑ってくれた。その顔を見たとき、私は胸が熱くなった。そして私は、親切はする方もされる方も嬉しい気持ちになることができるということを知った。

この体験を得て、私は人からしてもらった親切を、ほかの人にしていくことは、お互いの心を明るく優しいものにしてくれるのだと気づいた。小さな親切に気づき、それをつむいでいく。

私もそのような親切をほかの人にしていきたい。世界中が優しさに包まれるように。